

# ふるさと便り

## ―「上越タイムス」の記事より―

### 文学碑で地域活性 芭蕉の句碑再建

(八月)

三八朝市周辺まちづくり協議会は中央三丁目の琴平神社境内に松尾芭蕉の句碑を再建した。

再建された句碑は「奥の細道」で直江津を訪れた時詠んだ「文月や六日も常の夜には似ず」が刻まれている。元々は江戸時代に建立されたが火災で焼け、幕末に再建されたものも、風雪で読めなくなっていた。この碑を手始めに、直江津ゆかりの文学碑四基をこの周辺に設置し、文学や拓本で町の活性化を図る計画です。



### 謙信公祭開幕

(八月)

第八十四回「謙信公祭」が春日地区で開催された。総勢五百人の「出陣行列」が春日山史跡から春日山史跡公園まで行進した。続いて特別イベント「天地人」パレードに上杉景勝を演じた北村一輝さんが出演。山麓線沿道には住民、観光客など大勢陣取り謙信の城下町・春日山が熱く燃えた。夜には「川中島の戦い」が演出され、木浦市長が謙信役、姉妹都市上田市から上田城甲冑対と子供十勇士が参加、上田市長が真田幸村役を務め大歓迎を受けた。



### 糸魚川ジオパークが世界認定された

(八月)

糸魚川ジオパークは、五億年にわたる様々な時代のも様な岩石・地層、日本を二つに分ける「糸魚川静岡構造線」と「フオッサマグナ」が見どころで、ヒスイや断層、塩の道など、人に関わるテーマの豊富さが認められての認定である。



## 大発見 秀吉建立の聚楽第を描く屏風

(九月)

豊臣秀吉が建てた政庁兼邸宅である聚楽第に、後陽成天皇を招いた様子を描いた「御所参内・聚楽第行幸図屏風」六曲一双が上越で発見され、一般公開された。聚楽第は八年しか存続せず描かれている屏風も二例しかない。製作は千五百八十八年から千六百十四年までと考えられ、美術的にも貴重なものと云われている。



## 妙高山麓時代まつり 関所の往来を再現

(九月)

妙高山麓時代祭「関川関所祭り」が妙高市の関川関所・道の歴史館で開かれた。この関所では越後の玄関口として、又参勤交代や佐渡から金の通り道のため、厳重な取り調べが行われたとのこと。



## 高田別院の「おたや」(十月)

寺町二丁目の高田別院で、「おたや」が地元の協力で手作り屋台がずらりと並び昔懐かしい雰囲気を見せていた。親鸞聖人の遺徳を偲ぶ高田別院「報恩講」の地域行事である。一時は途切れ、又昔ほどのお店の数ではないが、四年前に復活大いに賑わっていた。



## 見学会 旧第四銀行高田支店

(十月)

本町三丁目に大きく構えている旧第四銀行高田支店は昭和六年に百三十九銀行本店として建設され、昭和十八年第四銀行へ移譲された。市内で最も古い鉄筋コンクリート建築物の一つで今年六月まで親しまれていた。建物の寄付を受けた市では歴史的建造物活用検討会で活用方法を検討中である。歴史の香りを感ずる見学会であった。



## 中部電力 上越火力発電所

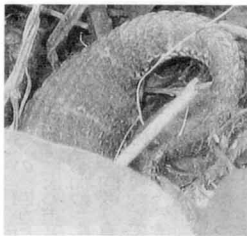
(十月)

直江津港の発電所建設地で、巨大なガスタービンと発電機の荷揚げと設置作業が行われた。LNG(液化天然ガス)を燃料とするガスタービンと蒸気タービンを組み合わせたコンバインドサイクル発電方式を採用。世界最高水準の高効率、燃料消費量とCO<sub>2</sub>排出量を低減した環境への配慮がなされている。平成二十四年に運転開始の子定。

## 幻のツチノコ発見か?

(十月)

幻のツチノコ探しを通し糸魚川市で地域おこしを実践しているツチノコ探検隊に「木浦でツチノコらしい生きものを撮影した」と一報が入った。「もしかして」と色めきだっている。遠くから望遠で撮ったものだが、蛇のような生きもの、色は黒っぽく、ウロコもくつきり。特徴は尾に近い部分が極端に膨らんでいる点だ。毎年の探検は四年続いているが、これも空振りに終わっている。



上越市長選挙 村山氏が当選

(十月 十一月)

上越市長選挙は十月二十五日に投票が行われ、前副市長の村山秀幸さんが当選。十一月十日に新市長として初登庁した。玄関で花束を贈られ、「一緒に二十一万市民のために頑張りましょう」と第一声を述べた。



高田農業高校 創立百周年を迎えた

(十一月)

明治三十二年に中頸城郡立高田農業高校として発足。その後学校名の変更、学科の改廃を経て県内有数の伝統校として歴史を重ね、一万五千人を超える人材を送り出してきた。



木浦前市長 感謝の言葉で退庁

(十一月)

二期八年を勤め上げた木浦正幸前市長「議会、市民、職員にお世話になり、無事にたどり着くことが出来た。これも全て皆さんのお陰」と感謝の言葉を述べ退庁された。



花街文化を伝える田端まつり (十一月)

料亭・宇喜世で「田端まつり」が華やかに催された。田端は仲町のかつての町名。鮮魚市場、卸のまち、そして陸軍入城・軍都が形成され事もあって、昭和に入ると仕出し屋や割烹が誕生し、多くの芸妓さんで華やき大いに栄えた。今再び芸妓さん達が昭和の良き時代の再現のために、粋につやかに舞っていた。



春日新田小学校 学校給食甲子園で優勝

(十一月)

学校給食甲子園大会は、地場産の食材を活用し、美味しさや栄養価、調理家庭、衛生管理などを審理する全国大会。全国の学校や給食センターなど千五百五十二校の応募から選ばれた十二校で競った。優勝したのは、タマネギ、トマト、ピーマン、チーズの入った卵焼き「タマタマトマピーチーズ焼き」、ホウレン草とレソンの「ゴマネーズ和え」「打ち豆みそ汁」など七品を作った春日新田小学校。「タマタマトマピーチーズ焼き」のレシピを紹介します。



材料名	分量 個	作り方
たまご	40	1. 玉ねぎは8つ割りスライス、トマトは8mm厚さの小さな(2cm位)のいちよう切り、ピーマンは3cmの細切にする。トマトの種を除く。
たまねぎ	10	
トマト	15	
ピーマン	3	
プロセスチーズ	10	2. 卵にマヨネーズ・塩・こしょう・玉ねぎを混ぜて釜で半熟程度のいり卵にする。
塩/こしょう	0.1/0.01	
ハーブマヨネーズ	2	3. 2の卵に他の材料を混ぜ、クッキングシートをひいた天板に平らに入れる。
		4. 230℃のオープンで7～9分焼き、切り分ける。

「青田川のうたーあそびにおいて」

(十一月)

「青田川を愛する会」が募集していた「青田川のうた」が発表された。近く上越教育大学の先生の作曲で歌になる。

青田川のうたーあそびにおいて

北山武志 作

- 一、あそびにおいてよ 青田川  
堤後にゆきやなぎ お城の町のむかしから、今がいな 花のころ
- 二、あそびにおいてよ 青田川  
ふみ石こんでふれてみる 木立の  
かげも七色に、今がいいな 水の  
いろ
- 三、あそびにおいてよ きらきら  
みんながそとと燃えてる 流れ  
はわかれ惜しむよに、今がいいな  
夕紅葉
- 四、あそびにおいてよ 青田川  
こんもり中洲細ぼうし お籠屋の  
灯りともるころ、今がいいな 雪  
景色

きらきら きらきら きらきら



オギ 荻 (イネ科) 紹介

(十一月)

ススキのように見えますが、全く別の植物。ススキはやや乾燥気味の所に生えますが、オギは窪地など水分湿った所が好きです。東京の荻窪と言う地名は盆地で、オギが茂っていた事からの名前と言います。ススキより葉が幾分広いこと、穂が白く美しいことで区別が出来ます。越後ではマユミガヤと呼ばれ雪囲いの簀(す)にも利用します。



直江津駅周辺で大収穫祭 (十一月)

「うまさぎつしり 上越秋の大収穫祭」が直江津駅周辺で開かれた。SLの運行、ふるさと物産展、うまいもん市などで、鉄道のまちは賑わった。直江津ー長岡間を走ったSLの勇姿、汽笛、煙にファンは大喜び。



謙信に天地人放映 無事終了を報告

(十一月)

「天地人」最終回の翌日、イメージキャラクター「謙信くん」が林泉寺を訪れ謙信の墓前で無事終了を報告した。



桑取り川でサケそじピーク (十一月)

桑取り川河口には大勢の人が訪れ、必至に川を上るサケ、投網でのサケ漁の光景を見物していた。今年は一万匹の捕獲を目指している。



霜鳳 勝ち越し 大相撲九州場所

(十一月)

新井生まれて高田農業高校出身の霜鳳。

千秋楽、押し相撲の垣添と先手争い。うまく二本差されて両差しを許すが、霜鳳も両上手をがちりと引く。相手の動きを阻止め、両上手を引きつけて力強く寄り切った。二場所ぶりの勝ち越し。「ホットしています。先場所より状態が良かった。巡業中に体をちやんと鍛えて、いい相撲取りたい」と来場所の抱負を語った。

